

「エコマネジメント長野」 観光スポーツ部環境方針

世界に誇る国立・国定公園を持つ長野県では、豊かな観光資源を活かし、自然の利用と保全循環による持続可能な社会づくりや、多くの県民がスポーツに親しむ社会づくりを通じ地域の活性化を目指しています。

当部では、「エコマネジメント長野 環境方針」、「長野県気候危機突破方針」等を踏まえ、省資源・省エネルギーの取組を徹底するなど、部の事業活動に伴う環境への負荷の低減に努めるほか、施策の推進に当たっても最大限環境に配慮し、持続可能な脱炭素社会の実現に向けて取り組みます。

1. 日常業務において、業務の効率化を推進する。
 - ・会議資料の簡素化を行い、ペーパーレス会議の実現に向け取り組む。
 - ・公文書管理システムによる事務処理は、業務効率・効果を踏まえた上で、電子決裁を基本とする。
2. 観光やスポーツのイベント等では、季節や電力需要に応じた節電・省エネを推進する。
3. 「信州やまなみ国スポ・全障スポ」は、環境配慮の視点を持った大会運営とする。
4. 山岳高原を活かした滞在型観光地域づくりの実現のため、自然や景観保護活動に取り組む。
 - ・携帯トイレの携帯、ごみの持ち帰り等の周知に取り組む。
5. 令和7年度は長野県廃棄物処理計画(第5期)の最終目標年度でもある。
職員一人ひとりが率先して、4R(リデュース、リユース、リサイクル、リプレイス)に取り組む。

また、職員は、日常生活において節水、節電、ごみの分別の実践、使い捨てプラスチックの使用量削減、自転車や公共交通機関の積極的な利用など、環境に配慮した取組を率先して実行します。

令和7年4月1日

長野県観光スポーツ部長 高橋 寿明